

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー一月信

2020年8月号 No.2

2020-2021年度ガバナー 久保田 英男



ロータリーは機会の扉を開く



©Hakkodo



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	米山功労者一覧	12
月間テーマについて	3	R財団寄付者一覧	13
委員長抱負	4	新会員の皆さん、ようこそロータリークラブへ!!	14
厚木市の4ロータリークラブによる高濃度エタノールの寄贈が大きな反響	11	新会員紹介 他	15

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780 2020-2021

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2020～21年度ガバナー

久保田 英男

(鎌倉RC)

1920年10月、東京ロータリークラブが誕生し、日本ロータリーの歴史が歩き始めました。つまり、今年2020年は東京RC創立100年、日本ロータリーが1世紀を越える記念すべき年に当たります。

さて当地区に目を移しますと、昨年度から今年度にかけて周年記念を迎えるクラブが多いのに気づかれたのではないのでしょうか。偶然のことなのでしょうか。

「必ず」「確実に」ではありませんが、かつてロータリークラブが10年、20年という節目を迎えると記念事業の一つとして、新クラブを作ることが多かったようです。特に日本では昭和30年後半から昭和40年代、所謂高度経済成長期にその傾向がみられるようです。東京RCの100年の今年が、当地区での周年ラッシュがリンクし、50～60周年を迎えるクラブが多い理由は、そのような来歴なのではないでしょうか。

その当時のロータリークラブの会員に選ばれることは「ステータス」であったと聞きます。自ら入会したい、と願ってもクラブ会員の推薦や「一業種一人」という厳しいルールの中、その地域内で会員に推挙されることはまさしく名誉であり、ロータリーバッジを胸にすることは「ステータス」であったのでしょう。しかし他方で、クラブを増やし会員を増やすことは、その価値を下げる結果になるのではないかと、考えてしまうかもしれません。では何故、半世紀も前のロータリアンはこぞって新クラブを設立し、会員を拡大したのでしょうか。

そもそもロータリークラブは名士の社交場ではなく、「奉仕の実践」の場、集まりです。世界の平和を願い、平等で公平な社会、豊かな生活を望むロータリーの理念を広く社会に浸透させ、それを自ら実践するためにあります。その理念に賛同し、ともに活動する仲間を増やすことは大変重要なことでした。戦争が終わり、経済的に復興した当時の日本におい

て、こうした社会活動は求められていたに違いありません。同志を広く多く募るのは当然のことでしょう。地域の名士と言われる人々が業種を超えて結束し、自ら汗をかきながら地域に奉仕する姿は衝撃的だったでしょうし、それに感化された人がロータリークラブに加わりたい願い、ロータリーのプログラムを実施し、地域の人々を巻き込みながらロータリーの活動が町に広がったのでしょう。

それらを現代に重ねると、ロータリー行動計画、その四つの優先事項がすでに昔から実践されていたことに驚きます。「インパクト」「広げる」「積極的なかわり」「適応力」。まさに半世紀前から私たちの先輩方が積み重ねてこられた結果です。その糧を受け取った現代のロータリークラブを担う私たちも、時代に「適応」し、地域社会に「積極的にかかわり」、参加する人、共感する人の基盤を「広げ」、ロータリーだからこそという「インパクト」を感じてもらえるよう行動し、ロータリーの歴史を次の世代に繋げていきましょう。

8月は「会員増強、新クラブ結成推進月間」です。新型コロナウイルス禍の中、増強より維持かもしれません。しかし、不況の時代を乗り切ろうとシカゴでロータリーは始まりました。この環境だからこそロータリーが力になれる時なのかもしれません。同期のガバナーが先日教えて下さいました。「スペイン風邪の大流行は1920年だった。その年に日本はロータリーを始めた」と。逆風に耐えて、むしろ挑むのがロータリー精神なのかもしれません。この様な時だからこそ、ロータリークラブの様な抛り所を必要としている人がいるかもしれません、積極的に声をかけてみて下さい。努力は人を裏切りません。

私たちもロータリーの歴史を紡ぎ、未来の仲間へこの誇りを繋ぎましょう。

■ 会員増強・新クラブ結成推進月間に因んで

地区会員増強・会員維持委員会

委員長 三澤京子

(寒川RC)



『ロータリーの意義を再認識し、 魅力あるクラブ作りを通して、 会員増強・維持につなげよう』

例年とは違うコロナ禍の8月の月間です。新しい生活様式での例会を再開されての各クラブの動きは、如何でしょうか？

66クラブの動きは、クラブの会員構成にもより、様々なようですが、新年度に入り、増強月間を迎えています。

2020～21年度の地区目標3の会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を2021年7月1日時点で、2500人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ（衛星クラブ等を含む）の拡大

を達成してもらえよう、一人でも多くの仲間の増強と現会員維持のために、またクラブの更なる活性化のためには、各クラブの現状に添い、一緒にクラブのことを考えて行きます。

クラブ活性化、元気なクラブづくりに、増強は1番効果的です。

不況の時代を乗り切ろうとロータリーはシカゴで始まり、この環境だからこそロータリーの力が発揮されます。各クラブが、ロータリーの意義を発信し、ロータリアンであるメリットを感じる仕組みを表し、各クラブにあったこの時期の会員増強策を考えましょう。

また、会員維持を最低線守るようになるには、どうしたら良いか？

各クラブは、現会員にとって魅力あるクラブ作りを振り返ってもらい、各グループ内でのクラブの置かれている状況判断も真剣にしてもらおう。

また、新クラブ・衛星クラブ・ロータアクト作りに関しても、情報を広め、お手伝いをしていきます。

この会員増強月間の卓話は、要望頂きましたクラブとのヒアリング後、それぞれのクラブに合った内容を分かりやすく行っていきます。

■ 表紙の説明 『飛雲』

鎌倉彫は、鎌倉時代に中国の漆器である堆朱に学び、禅寺の仏具を制作したことに始まる、木彫り漆塗りの工芸品です。飛んでいる雲を表現したこのオブジェも、寺の壁面装飾をもとに制作したものです。

委員長抱負

地区戦略計画委員会

委員長 相澤 光春 (ふじさわ湘南RC)

『地区戦略計画委員会事業計画について』

地区戦略計画委員会は、2019年7月からスタートいたしましたR Iの新しい戦略計画を踏まえ、地域社会がよい変化を生むための地区の戦略計画の立案を目指し、本年度も引き続き活動してまいります。昨年度は相模原での地区大会において「地区ビジョン」の策定をすることができました。今年度は地区ビジョンの実現のため、次のとおりの事業計画を立てさせていただきました。



(委員会事業計画)

1. R Iのビジョン声明と地区ビジョンの理解推進
2. 地区ビジョン実現の4つの地区優先事項とその活動目標の確立と理解の推進
3. その他委員会に係る必要な事項

地区研修委員会

委員長 大谷新一郎 (相模原南RC)

今年度地区研修委員長を仰せつかりました大谷です。杉岡年度に引き続き久保田ガバナーのもと当委員会の大きな柱であるガバナーのサポート、"いかにガバナーが一年間ガバナーとしての職務と職責をスムーズに執行でき、掲げる目標を達成できる"よう最大のサポートを行っていく所存です。



また近年の「変化」に十分対応し、今回の新型コロナウイルスのような突発的な事象に対しても周囲の状況・R Iの方針等をよく把握し、ガバナーと協議・相談して活動していきたいと思えます。

後半の次年度に向けてのガバナー補佐研修については、田島ガバナーエレクトと詳細にわたり意見交換をし、田島年度がスムーズにスタートできるよう充実した研修を7回に渡り実行する予定です。

昨年度コロナの影響で実行できなかったPETS・地区研修協議会も万全を期して企画いたしますが、コロナの終息を願うばかりです。

14名の委員会、チーム一丸となって頑張りたいと思えます。宜しくお願い致します。

地区危機管理委員会

委員長 笠原 又一 (藤沢北RC)

『危機管理；予測と決断』

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、政治・経済はもとより毎日の生活にこのような制約を受けることは、今年初めにはほとんどの方が予測されていなかったと思います。



まさに危機管理の基本原則 "危機は予測を超えて到来する" を地で行っています。

当地区ではインバウンドとアウトバウンドの青少年交換留学生にプロジェクト半ばで帰国していただきました。学生にとって途中帰国は不満が残ることでしょうが、生命の安全を第一としたガバナー及び関係者の決断でした。コロナ対策における各国のリーダーの決断はその資質と共に危機管理上注目になります。強烈的な封じ込めを行った中国、経済を優先しようとする米国、集団免疫策のスエーデンと英国(途中で方針転換)、クラスターを標的とした日本等々。それぞれ国内の事情を背負ってリーダーは独特の施策をとっていますが、その決断の結果は問もなく判るでしょう。危機は予告なく襲ってきます。その時に可能な限りの準備と最善の決断することがすべてのローアリアンに求められていると思います。

姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

『更なる絆を築くために』

全世界中に蔓延した新型コロナウイルスの影響で、すべてのロータリー活動が中止、又は延期となる最中、当地区と姉妹地区を締結している国際ロータリー第3662地区(韓国濟州島)



は6月3日濟州島内第3662地区メンバーのみの地区大会を挙行了しました。満5年目を迎えた両地区の姉妹契約を事前の相互の了解の下に再締結し、地区大会でも発表され、新たな段階に前進しましたことを皆様にご報告いたします。この締結は日本・韓国両国の相互理解を図り、さらなる友情の絆を促進するためにも両地区・地区大会等を通じ、相互訪問による人的交流を主眼とする内容で、本年も引き続き、この締結に沿って各活動を行っていきたく思っております。

R I が推奨する国際奉仕の目的に「他国の人々とその文化、習慣、功績、願い、国際意識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成り立つ。」とある様に、この前代未聞の厳しい状況下、昨年度より引続き、女性会員に関する増強関係等々について、相互間の理解と意識を高め、一歩でも前進できるように頑張りたいと思っております。そして委員会の要としての両地区の情報発信をより鮮明に、そしてさらなる深い友情の絆を築くためにも頑張る所存であります。

地区ホームページ委員会

委員長 小野良太郎 (秦野中RC)

『機会の扉を開くサポートを』

本年度R I 会長のホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに、また当地区の久保田ガバナーは「TOGETHER～+もっと自由に」をテーマに掲げられています。参加者の積極的なかわりを促し、参加者の基盤を広げ、参加者の機会の扉を開くためにも外部に発信できるホームページの充実が必要ではないかと思っております。そこから参加者を巻き込み、一緒により地域にインパクトを与えられる奉仕活動へと繋がれば、クラブ活性化、会員増強にも繋がると思っております。またコロナ渦のような未曾有の状況、その後の新しい生活様式に適応力を高め、ロータリー活動を充実させていくためにもホームページを活用できるのではと考えております。限られたリソース等制限のある中で一気にとはまいりませんが、現状分析から一歩ずつ進めてまいります。一年間よろしくごお願い申し上げます。



ロータリーの友 地区代表委員

神谷 一博 (湯河原RC)

『ロータリーの友誌 素晴らしきかな』

1953年1月の創刊号の発行部数は月約3,300部でした。現在では毎月95,000部ほど発行しています。今日に至るまでの関係各位諸先輩方の『友』にかけてきた情熱は多大なものであったと推察致します。



「一般社団法人ロータリーの友事務所」は、社員・理事会・職員により構成されています。これとは別に「ロータリーの友委員会」が設けられています。

第2780地区からは一般社団法人の社員として久保田英男ガバナー、委員会としては相談役 神崎正陳バスターガバナー、地区代表の私、神谷一博が『ロータリーの友』を担ってまいります。どうかよろしくお願いいたします。

委員として、久保田ガバナーと良く連携をとり「友」誌の編集・発行にガバナーの代理として建設的な意見を提言しながら第2780地区の活動を掲載して行くという大事な役目があります。それと共に『ロータリーの友』誌を地区内のロータリアンの方々お一人お一人にこの素晴らしい月刊誌を読んで頂き、活動の参考にして頂けるよう『PR』に励んでいくように考えます。特に2014年1月号より電子版の発行をスタートしておりますので、いつでも時間の空いた時には閲覧が出来るようになりました。是非活用してみてください。

また、皆様の活動・集まりにも顔を出させて頂きたいと思っております、よろしくごお願いいたします。

この1年間、会員の皆様にとって『ロータリーの友』が有効な情報の提供の場となりますように心がけて行きたいと思っております。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 大隈 秀仁 (相模原ニューシティRC)

『地区はクラブのためにある!』

ロータリーは今、急変する環境に適応するため、革新性と柔軟性を持ったクラブ運営を求められています。特に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例会の在り方や会費の見直し等様々な改革が行われているところではないでしょうか。そこで、本年度地区クラブ管理運営委員会は、「地区はクラブのためにある!」をコンセプトに、各クラブの管理運営に関する疑問の解消や情報の提供を行う等、各クラブの支援を行って参りますので、何かお困りの事があれば遠慮なく当委員会をご活用下さい。

事業活動計画としましては、①地区クラブ管理運営委員会の過去の活動検証、②各クラブの管理運営に関する支援、③My Rotaryの登録推進及び活用促進、④クラブ幹事研修の開催。以上4項目を行って参ります。



委員長抱負

そして、これらの活動を通して、当委員会メンバー14名の方々と共に委員会活動を楽しみながら交友の輪を広げ、実りある1年になるよう鋭意努力いたします。

地区公共イメージ委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央RC)

『さらなる公共イメージと
認知度の向上をめざして』

今般のコロナ禍で、各クラブでも事業の開催が延期・中止になっておりますが、収束後には、地区内クラブが開催をするエンドポリオキャンペーンの後方支援を行わせていただきます。具体的には、開催内容の告知・事業の報告を、委員会のFacebookを通して発信をしております。貸出備品には新たにキャンペーン専用ベストもご用意いたしました。

また、その他の社会奉仕事業に関しても情報をいただければ同様に発信していきます。Facebookのビジター投稿でも結構ですし、その他の方法でも情報を委員会に提供してください。

地区の活動に関しては、Facebookライブ配信で情報発信を行います。毎月第三水曜日16時45分頃からの配信になります。前年度のゲストはロータリアンのみでしたが、ロータリアンに加えてローテックス・米山奨学生学友にも出演をいただく予定です。You Tubeでも視聴できます。

Facebookの活用を検討されているクラブには開設の支援をいたします。

皆様と共に「世界を変える行動人」として活動してまいります。

2019～20年度ガバナー月信04号に、登録用のQRコードがありますので登録をお願いします。

オンツアー・台北国際大会委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

『GO TO 台北』

今年度の国際大会は2021年6月12日～16日に台北で開催されます。前回のホノルル大会は残念ながら新型コロナにより中止となりオンライン開催となりました。



国際大会には世界中から何千人というロータリアンが集まります。親睦と奉仕を通じ、より良い世界を目指そうという共通の仲間たちと出会えます。感動的な講演を聞いて今後の参考にするなど、多くの刺激をもらえます。新しい場所で、現地の文化を体験し、新しい友人と出会い、それだけでなく、全ロータリーファミリーが参加できる場です。世界中の仲間と一緒に出会い、学び、感動し、楽しみましょう。国際大会へ参加したことのない会員は近隣国での開催ですのでこの機会に一緒に行きましょう。特に開会式は感動的です。

登録はMY ROTARYで行えます。登録料は12月15日まで\$365です（早期登録による割引）早めに登録して割引をご利用ください。詳しいことはMY Rotaryをご覧ください。

地区会員増強・会員維持委員会

委員長 三澤 京子 (寒川RC)

『ロータリーの意義を再認識し、
魅力あるクラブ作りを通して、
会員増強・維持につなげよう』

例年とは違うコロナ禍で、各クラブがロータリアンの意義の発信をし、ロータリアンであるメリットを感じる仕組みを表し、会員増強策を考えてもらうように、動機付けたい。

会員維持を最低線守るようになるには、どうしたら良いか？

現会員にとって魅力あるクラブ作りを振り返ってもらい、各グループ・クラブの置かれている状況判断も真剣にしましょう。

また、新クラブ・衛星クラブ・ローターアクト作りに関しても、情報を広め、お手伝いをする。

8月からの会員増強月間の卓話は、ヒアリング後、分かりやすく、それぞれのクラブに合った内容をフォーラムのような形でやっていきます。

11月28日に、会員維持と新会員の集いの合体でセミナー（ミナパーク）を開催します。6月27日の増強セミナーは中止になりましたので、その代わりでもあります。コロナ禍のため、招集範囲は、直近に決めます。



地区奉仕プロジェクト委員会

委員長 石井 卓 (厚木県央RC)

『コロナ禍での奉仕活動』

2020年は、だれもが予想出来なかった新型コロナウイルスの感染拡大という大きな災いが、全世界におよび、世界的に感染拡大防止と経済活動の両立という命題に悩み、苦しんでいます。



ロータリーはその基本理念として「超我の奉仕」を掲げています。ロータリーの奉仕は「行動すること」を求められます。今回のコロナ禍は経済的に多くの業界、人々に多大な損失をもたらし、特に社会的弱者にそのしわ寄せがきています。このような社会状況であれば、なおロータリーの奉仕活動が必要とされると考えます。

当2780地区各ロータリークラブにおいては、例会の開催もままならない厳しい状況の中でも、コロナ対策を含め多くの奉仕活動が行われていると思います。それらの奉仕活動の内容、地域社会からの要請、費用の念出先、地域社会の反響、など各クラブに問い合わせ、結果をまとめ、報告したいと思います。

また、日本では、7月1日よりレジ袋の有料化され、人々の環境問題に対する関心が高まり、世界的にも廃棄プラスチックなどの環境問題が提起されています。卓話の機会があれば、取り上げて行きたいと考えます。

職業奉仕委員会

委員長 秋山 純夫 (秦野RC)

職業奉仕委員会の主たる任務は、一月の職業奉仕月間に、希望するクラブにメンバーを派遣して卓話を行なうことです。それに必要な資料及びパワーポイント制作を行います。



加えて、本年度は昨年度来のコロナ禍の影響により経済活動や世の中の動きが鈍化している状況下で、ロータリー活動はもとより仕事に大きな支障が出ている会員もいらっしゃると思います。

アフターコロナやウィズコロナなどと言われ、この災厄が収束しても世の中と私達の生活様式が大きく変化することが予想されます。この時代に於ける

職業奉仕を考察することは、(コロナ禍に於いて、職業奉仕を行なった事例調査なども含む) コロナ禍真っ只中にいる私達の責務であると考えます。

なにぶんにも未曾有の出来事ですので、どのようなことができるか分かりませんが、委員会メンバーと力を合わせて活動して行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

社会奉仕委員会

委員長 守屋 又市 (相模原RC)

『どうする社会奉仕活動』

2020～21久保田ガバナ一年度に地区社会奉仕委員長を仰せつかりました相模原RCの守屋です。浅学非才な自分がこのような時期に大役を務まるのか、非常に不安を感じております。



さて、6月に入りコロナウィルスの影響が少し落ち着き、都道府県間の往来もできるようになり、社会経済生活も蔓延期に比べ少し戻ってきた感がありますが、まだ油断できる状況ではありません。多くのクラブがこのコロナ危機に対応し、マスク等医療用品を医療機関等に寄付する奉仕活動を実践されています。しかしながら秋口には第二波の蔓延も予想され、まだまだ先が予測できない状況です。

このような状況下社会奉仕活動はいろいろ制限が出てくるものと予想され、例年実施している地区の社会奉仕セミナーの開催は厳しいものがあります。現下の状況を勘案して社会奉仕委員会として、今年度も「1クラブ1奉仕プロジェクト」の方針に基づき、どのような活動をするか検討してまいりたいと考えておりますので、各クラブのご協力をよろしくお願い申し上げます。

国際奉仕委員会

委員長 小巻 慎吾 (秦野中RC)

『奉仕の喜びを！』

国際奉仕活動には、様々な分野がありますが、当委員会は「国際奉仕プロジェクト」を中心に担当します。その主な役割は、特に発展途上国に対して、RIが推奨する6つの重点分野にあるような人道的奉仕活動の推進であり、その地



委員長抱負

域の人々・社会の生活水準・質の向上を目的とした奉仕活動を実践していただくことであります。

この奉仕活動がもたらす恩恵は、援助される側の人々にとって事業のおかげで彼らの生活が向上することは勿論のこと、支援を受けた人たちが喜ぶ姿を目の当たりにして、支援した我々も一緒に同じ感動を味わうことができるということです。更に国際理解や親睦を一層深めることができます。奉仕を受けた人たちだけでなく、奉仕をした自分たちも幸福に満たされる、これが真の奉仕であります。その中で最も大切なことは、その活動（プロジェクト）が、その地域の人々・社会にとって、ニーズがあり、かつ持続可能なシステムを有しているプロジェクトであるということなのです。

本年度は、国際奉仕活動を計画されているクラブに、地区国際奉仕委員会として、プロジェクトの企画立案・実施のお手伝いをさせていただき、奉仕活動の素晴らしさを体験していただくことを、活動方針とさせていただきたいと思っております。

地区青少年奉仕委員会/インター・ローターアクト委員会

委員長 大野 宏一（逗子RC）

『臨機応変にて大局をみる』

10ヶ月前であったならば、考慮することもなかったであろう、生活スタイルの変化でありました。リモートワークやオンライン授業、WEBミーティング・セミナーなどが普及し、案外仕事効率が上がったたりして好意的に受入れているご意見も多いようです。

今後COVID-19が仮に落ち着いたとしても、10ヶ月前の生活スタイルに戻ることはないでしょう。そうであるならば、今年度の地区青少年奉仕委員会は臨機応変に対応していきます。

青少年奉仕活動において最も大切なことは、参加青少年少女の、健康と安全（アフターCOVID-19では健康が一番の財産となるでしょう！）、及び主体性の確保です。今年度を通じて、ここに観点を置いて地区青少年委員会活動を行えば良いな、と考えております。



青少年交換委員会

委員長 椋梨 兼彰（藤沢RC）

『青少年交換プログラムを より良く理解してもらおう為の1年間にしたい』

前年度に続き2年目の青少年交換委員長としての年度が始まりました。新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大は収束していく様ですが、実際には徐々に感染者も増えマスコミ等で連日言われているように第2波に対する警戒をしているのが現状



です。そのような現状から大変残念ですが今年度の青少年交換プログラムはインバウンド・アウトバウンド共に中止という事になりました。今年度派遣予定の候補学生は次年度に派遣する予定になっております。そこで今年度の青少年交換委員会の活動としましては1年間をかけてこれまで中々できなかった委員会資料等を徹底的に見直して今までより分かりやすい資料を作成し今後のプログラム再開時に向けてスムーズな運営を目指して行きたいと考えております。このプログラムに携わっている委員の方々には素晴らしいプログラムであると理解していただいておりますが、実際にお世話になるホストクラブ、スポンサークラブ、ホストファミリー、受け入れ学校そして2780地区のクラブメンバーの皆様には我々委員会からの説明不足などの理由で正しく理解されていない事も事実であります。そのような事を少しでも解消できる委員会活動を目指して委員一同1年間頑張っていきたいと思っております。

RYLA 委員会

委員長 清水 寿人（相模原柴胡RC）

『辛抱する木に花が咲く』

当地区においてRYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）を耳にする事が無くなり約15年が経ちます。以前は各クラブ持ち回りで行なわれていた研修ですが、今年度から新たに委員会が立ち上がり地区委員会主導でRYLAを行ないます。そう言っている私は、RYLAを経験・体験・参加した事はありません。1からのスタートになります。だから今までの固定観念にとらわれる事が無く参加して良かったと言われるプログラムを



委員長抱負

委員会で考えて行きたい思います。

さてRYLAは年齢14歳～30歳の若者を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕・高い道德基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事を目的としています。今年度はまだ手探りの状況ですが一泊二日での研修を行なう予定です。ご協力お願い致します。と締め括る所では有りますが、今年度は青少年の安全を最優先に考え委員会活動は行なうものの研修プログラムは中止としました。これをチャンスとらえ委員会でじっくり話し合いより良い物を次年度に繋げて行く所存です。一年間よろしくお願い致します。

地区R財団委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『俺たちの財団』

ロータリアン 15ドルで スポンサー 世界平和へ 一人旅立つ

財団奨学生は会員一人15ドルの寄付でもう一人の奨学生を送り出すことが出来ます。是非一人当たり200ドルの達成をお願いいたします。



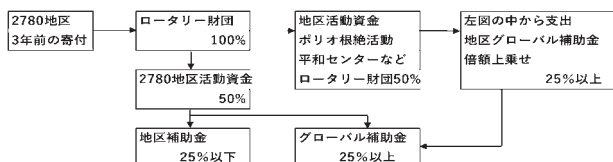
『俺たちの財団は4年サイクル』

3年前	2年前	前年度	今年度
大谷年度	脇年度	杉岡年度	久保田年度
寄付年度	確定年度	申請年度	実施年度

『シェアシステムとは』

シェアシステムは4年サイクルで毎年繰り返されます。3年前に寄付していただいた金額を地区ごとに確定し、恒久基金の運用益を加えて予算化します。その予算により国際ロータリーのロータリー財団は奉仕活動をしします。2780地区の活動資金は下図のような配分ルールで予算が確定されます。これをシェアシステムといいます。

世界のクラブ会員からの寄付を公平に、しかも使途が明確になるように設計されたとても優れた仕組みです。恒久基金の運用益やポリオ寄付などを含めるとチャートが複雑になるためにそれらを省略すると概ね下図のようになります。



この図で分かるように、2780地区クラブ会員からの寄付の75%～80%は地区の裁量権に委ねられています。まさに俺たちの財団です。今年度もクラブ皆様と地区委員会のご活躍をよろしくお願いいたします。

財団補助金委員会

委員長 三宅 讓 (逗子RC)

『積極的に！もっともっとアピールする
ロータリーそして、財団をめざして』

「世界で行動を重んじるロータリー会員は、地域社会とともにプロジェクトを立ち上げ、助けを必要とする人びとを支援しています。」「新型コロナウイルス流行が続く中、会員たちは、ウイルスに関する周知において保健当局を支援し、治療の最前線にある医療現場に防護具や物資を寄贈するなど、地域社会に寄り添って活動しています。」「私たちの活動にご参加下さい。」



以上のような「国際ロータリー」のインターネットの広告が、最近目に止まった。私が入会した約24年前頃は、国際ロータリーの「会員募集広告」は、見なかった記憶だが、それから10数年後、私の所属する逗子RCで「タウンニュース」誌に「会員募集広告」を掲載してめでたく入会した会員が、今やクラブのコアメンバーとして活躍しています。行動する会員あっての財団です。久保田ガバナー年度もロータリー財団の活動にご理解とご協力を切にお願いします。地域社会にアピールするNo.1の奉仕団体を常に意識しよう。

補助金配分・VTT委員会

委員長 中村 眞英 (伊勢原平成RC)

『地域に価値ある奉仕に補助金を』

委員会の役割は、補助金申請を検討しているクラブの支援をしていき、また補助金配分方針に従い申請が有ったクラブの補助金の配分をしていきます。

地区補助金は、比較的小規模のプロジェクトに活用でき「ロータリー財団の使命を支える活動



委員長抱負

であること」「ロータリアンが積極的に参加すること」が条件です。

グローバル補助金は、6つの重点分野における国際的な奉仕プロジェクトであれば、是非グローバル補助金を活用してください。30000\$を超える規模で実施することが出来ます。随時受け付けをします。

VTT（職業研修チーム）とは、専門職業人のグループが海外に赴き、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するものです。地区補助金、グローバル補助金を利用してVTTを支援することが可能です。

各クラブの皆様には、補助金を活用して地域に価値ある奉仕をしていただき、クラブ活性化につながっていただければと思います。

財団資金推進委員会

委員長 田後 隆二（相模原中RC）

『会員目線で丁寧にご説明します』

今年度もロータリー財団への寄付をよろしくお願いいたします。

ロータリー財団への寄付金が、どのような奉仕活動等に活用されているか、すでに多くの会員の方がご存知のことと思います。しかし、米山記念奨学会への寄付金とどう違うのか、具体的に何にいくら使われているのか、よく分からないという声もよく耳にします。

ただ寄付をお願いするだけでなく、財団寄付金がかどのように活用されているかを丁寧にご説明し、快く寄付していただけるようにするのが、当委員会の使命です。また、寄付金募集に苦慮しているクラブには、積極的に寄付を集めているクラブの成功例をご紹介します。

地区目標は、年次基金1人200ドル以上、ポリオプラス1人40ドル以上、恒久基金1クラブ1000ドル以上、ゼロクラブゼロの継続と、例年と変わりませんが、年次基金総額50万ドル以上、ゼロ会員ゼロも目指してまいります。「ロータリーカード」も当委員会の担当ですので、あわせてよろしくお願いいたします。



補助金管理委員会

委員長 永松 秀行（藤沢南RC）

『補助金事業の完了報告の重要性』

このコロナウィルスにおいて通常の補助金事業がなかなか難しい中でどのように行っていくか大変に重要な判断が必要になってくると思います。そのため資金配分委員会とタッグを組み、適正な事業並びに適正な完了報告を徹底してクラブの皆様と行って参りたいと思います。今年は事業決定したクラブに対して完了報告の細かい留意点等を説明会を開催して説明していきたいと思っております。通常は前年度の説明のみで終わらせていますが今年からは担当が支給クラブのプロジェクトリーダーと会計責任者と一緒に進めていければとおもいます。

私たち委員会の仕事は地区財団セミナーや補助金管理セミナー地区補助金説明会、補助金支給決定クラブへの説明会で等ですが、1番重要なのはロータリアンの任意で集めた寄付によって成り立つお金を、有効にきちんと活用できるようにお手伝いすることなので、委員会一同、同一の認識で完全なる完了報告書を目指して行いたいと思います。



平和フェロー・奨学金委員会

委員長 中山富貴子（茅ヶ崎RC）

平和は「人」から始まるという趣旨の下、「人を育てるロータリー財団」の活動として、皆さまのご寄付が平和フェロー・ロータリー奨学金として活用されています。

平和フェローシップは国際基督教大学（ICU）に平和センターがあり第2780地区はホストエリア連絡協議会に加盟し支援を行なっています。

またロータリー奨学金及び第2780地区ロータリー奨学金は地域や世界で活躍できる未来のリーダーを育成する目的とした教育プログラムです。4月に募集を開始し、今年度は10月に選考試験を行います。合格者には学友会と共に留学の支援をいたします。

この度の「新型コロナウイルス」感染拡大により、前年度及び今年度の平和フェロー・奨学生も特別な状況下に置かれ経験したことのない事態を前向きに取組み、無事に乗り越えられたことを感謝し誇りに



委員長抱負

思います。

今年度は各クラブのロータリアンの方々に平和フェロー・奨学生のことをより身近に感じて頂けように「機会の扉を開いて」行きたいと努力します。

将来の世界平和貢献のためにロータリアンの皆さまの寄付が役立てられていることへのご理解と引き続きのご支援をお願いしていきたく思います。

地区米山奨学・米山学友委員会

委員長 常盤 卓嗣 (平塚RC)

『米山新時へ向けて』

本年も新しい奨学生を迎え学友と共に新しく歩みを始めようと色々な企画を考えていました。昨年暮れから世界中をパンニックにおとし入れた新型コロナウイルスの影響は当委員会にも大きく影を落としています。



当初予定していた委員会事業も大幅な変更を余儀なくされています。しかしながら限られた1年間で夢と希望を持って奨学生となられた方々との交流を考えてゆかなければなりません。今までの事業にとらわれずに、新しい事業を生み出して行こうと考えています。

私達の委員会の主役はあくまで学生です。この原点に立ち返り今年度はスタートして参ります。米山奨学会との連携も既存の事業に加えて実施していきたいと考えています。

米山の奨学会の同窓会を開催して参りたいと思います。多くの学生たちが母国で又日本で活躍しています。日本に残る第2780地区出身の学生達と一年に一度交流を計る場作りをして参ります。又本年は米山の第2回世界大会も台北で開催される予定となっておりますので、この大会にも委員会として参加して参ります。色々な事で世話クラブ、カウンセラーの皆様にはお世話になりますが、本年もさらなるご協力をお願いして一年の抱負といたします。

クラブより

厚木市の4ロータリークラブによる高濃度エタノールの寄贈が大きな反響

第6グループの厚木、厚木中、厚木県央及び本厚木の4ロータリークラブが、同市及び同市に隣接する愛川町及び清川村に対して、新型コロナウイルス感染対策のため、消毒用アルコールの代替品として使用できる高濃度エタノール（500ミリリットル瓶、1000本）を寄贈したことが、地元の神奈川テレビ、神奈川新聞、厚木伊勢原ケーブルテレビ等により報道され、ロータリーの知名度の向上とイメージアップに大きく貢献しましたので、ご紹介させていただきます。

今年4月、新型コロナウイルスの感染が拡大し、消毒用アルコールの不足が大きな社会問題となるなか、厚木RC会員の黄金井酒造株が高濃度エタノールを製造・販売することを発表したことを受けて、厚木RCが発案し、厚木4クラブ共同の社会奉仕活動として実施致しました。

「新型コロナウイルス対策緊急地区補助金」を利用させていただき4クラブの拠出金を加えて、高濃度エタノール500ミリリットル瓶1000本の寄贈をすることができました。

3市町村に寄贈した高濃度エタノールは、医療施設、福祉施設、公共施設等に配布されましたが、小中学校の授業が再開されたときでもあり、市町村長をはじめ、関係者から大変感謝されました。

寄稿：2019-2020厚木RC会長 滝澤 勇



米山功労者一覧

(2019年7月1日～2020年6月30日)

第1グループ

- ◆米山功労者
横須賀 今野 成敏
西村 京子
横須賀北 品川 昌義
三浦 藤 喜代司
横須賀西 坂倉 真人
- ◆マルチプル
横須賀 町田 竜五 (2)
福島 康人 (4)
江沢 暁彦 (5)
吉田 清 (5)
小林 康記 (5)
物井 宏介 (6)
平松 廣司 (7)
横須賀北 御子柴智義 (3)
三浦 秋本 清道 (3)
鈴木 康仁 (3)
松崎 貞男 (4)
横須賀西 高橋 己幸 (2)
小池 克彦 (3)
- ◆メジャードナー
横須賀 田邊 一三 (10)
石田 重藏 (10)
佐久間博一 (23)
小沢 一彦 (65)

第2グループ

- ◆米山功労者
鎌倉 横山 英夫
逗子 大野 宏一
清水 恵子
森 靖雄
- ◆マルチプル
鎌倉 御代川総一郎 (2)
大西 久子 (2)
武藤 嘉夫 (5)
久保田英男 (5)
佐藤美智子 (8)
矢部 房男 (6)
鎌倉大船 仲村 裕之 (2)
葉山 土佐 洋子 (2)
鎌倉中央 小西美恵子 (2)
- ◆メジャードナー
鎌倉 服部 全弘 (12)
葉山 山口健次郎 (11)

第3グループ

- ◆米山功労者
藤沢西 相澤 康幸
高木 透
塩坂源一郎
磯田 賢吾
大澤 宏
藤沢北西 長谷川一夫
藤沢南 木本己樹彦
新井 智代
後藤 康太
ふじさわ湘南 相澤 庄太
寺田 圭次
藤井 尚孝
- ◆マルチプル
藤沢 日比野 強 (2)
泉 信子 (3)
今井 重信 (7)
藤沢西 田邊 秀 (2)
端山 創之 (2)
安東 信介 (3)
豊島 亜彦 (5)
原田 武司 (5)
藤沢北 神崎 知久 (3)
草山 恒吉 (3)
青木 信夫 (6)
藤沢東 小柴 智彦 (2)
河合 克彦 (3)
藤沢南 山根 博正 (3)
阿部 劍朗 (4)
青木小四郎 (5)
ふじさわ湘南 林 雄一郎 (2)

- 山本 忠博 (2)
かながわ湘南 奥 和子 (2)
アーカス湘南 原 いづみ (2)

第4グループ

- ◆米山功労者
茅ヶ崎 吉田 恵子
半田 朋子
岩澤あゆみ
加瀬 義明
杉田 祐一
大箭 剛久
中山富貴子
棕梨 晴喜
小八木隆男
水嶋 聡
寒川 井上 晋一
石腰 亮
綾瀬 南里 和宏
栗田 智太
茅ヶ崎湘南 佐藤 昭人
小木曾幹雄
菊池 傑
矢野 嘉哉
綾瀬春日 中村真一郎
鈴木 敦
笹島 誠
- ◆マルチプル
茅ヶ崎 熊澤 孝之 (2)
成田 栄二 (5)
寒川 清水 功 (2)
椎谷 敏行 (5)
入澤 章 (5)
磯川 浩 (6)
綾瀬 渡井 克正 (3)
加藤 良男 (3)
峰尾 四郎 (3)
高橋 孝司 (4)
茅ヶ崎湘南 小又 賢二 (3)
伊澤 敏典 (3)
小島 一男 (4)
原田 進 (6)
大村日出雄 (9)
茅ヶ崎中央 木村 康治 (2)
當間 安弘 (3)
加藤 順一 (5)
小川 一雄 (9)
綾瀬春日 紀 孝 (3)
澁谷 敏夫 (4)
鈴木 光雄 (4)

第5グループ

- ◆米山功労者
相模原南 一ノ瀬 裕
相模原中 池之上和哉
相模原西 井口 一也
相模原グリーン 犬飼 久恵
遠藤 秀幸
李 爽
相模原大野 判治 君代
津久井中央 水野 茂
具 尚禮
- ◆マルチプル
相模原 井上 穰 (4)
磯崎 嘉徳 (7)
松岡 忠義 (7)
相模原南 溝渕 真澄 (2)
徳久 京子 (2)
杉崎 信一 (3)
松井 克之 (3)
月森 清一 (3)
栗林 一郎 (8)
相模原中 伊倉 正光 (2)
豊岡 淳 (2)
黛 裕治 (3)
川合 貞義 (6)
相模原西 三尾 明彦 (3)
山本 晴章 (3)
栄枝 隆成 (3)

第6グループ

- ◆米山功労者
相模原東 梅村 剛三 (5)
相模原グリーン 神座 磯男 (3)
相模原大野 加藤 良夫 (3)
宮崎雄一郎 (4)
津久井中央 八木 勉 (2)
田畑 和久 (3)
小山 里枝 (4)
相模原橋本 原 安宏 (3)
- ◆メジャードナー
相模原 杉岡 芳樹 (38)
相模原南 大谷新一郎 (13)
相模原グリーン 尾畑 仁貴 (16)
相模原橋本 原 幹朗 (52)
- ◆マルチプル
厚木 前島 憲司
市川 信也
大和中 石川 達男
中村 友彦
厚木中 五十嵐直樹
佐藤 光輝
高野 栄一
松本 哲也
松井 亮作
海老名 永岡 史隆
篠原 康史
厚木県央 難波真奈美
田羅間寿美子
- ◆マルチプル
厚木 小林 透 (2)
三橋 一皓 (6)
米山 尚登 (7)
大和 森川 良三 (2)
伊藤 健司 (2)
伊藤 彦二 (3)
座間 日野原征夫 (4)
高原 和享 (6)
大和中 石川 健次 (5)
伊藤 英夫 (6)
厚木中 小澤 俊通 (4)
小島條太郎 (4)
出口 義勝 (5)
西 厚夫 (8)
大和田園 小島 政滋 (2)
金子 光雄 (5)
北嶋 正孝 (5)
河西 正彦 (7)
海老名 深須 伸一 (3)
金子 武男 (3)
松崎 明 (5)
高橋 晃 (5)
雨宮 光孝 (6)
海老名 長浦 文夫 (3)
小林 和彦 (4)
厚木県央 岡見 健 (2)
関原 敏文 (2)
豊 豊 (2)
松本 清則 (3)
春日 森 正章 (4)
- ◆メジャードナー
大和 古木 通夫 (20)

- 相模原東 梅村 剛三 (5)
相模原グリーン 神座 磯男 (3)
相模原大野 加藤 良夫 (3)
宮崎雄一郎 (4)
津久井中央 八木 勉 (2)
田畑 和久 (3)
小山 里枝 (4)
相模原橋本 原 安宏 (3)
- ◆メジャードナー
相模原 杉岡 芳樹 (38)
相模原南 大谷新一郎 (13)
相模原グリーン 尾畑 仁貴 (16)
相模原橋本 原 幹朗 (52)

第7グループ

- ◆米山功労者
厚木 前島 憲司
市川 信也
大和中 石川 達男
中村 友彦
厚木中 五十嵐直樹
佐藤 光輝
高野 栄一
松本 哲也
松井 亮作
海老名 永岡 史隆
篠原 康史
厚木県央 難波真奈美
田羅間寿美子
- ◆マルチプル
厚木 小林 透 (2)
三橋 一皓 (6)
米山 尚登 (7)
大和 森川 良三 (2)
伊藤 健司 (2)
伊藤 彦二 (3)
座間 日野原征夫 (4)
高原 和享 (6)
大和中 石川 健次 (5)
伊藤 英夫 (6)
厚木中 小澤 俊通 (4)
小島條太郎 (4)
出口 義勝 (5)
西 厚夫 (8)
大和田園 小島 政滋 (2)
金子 光雄 (5)
北嶋 正孝 (5)
河西 正彦 (7)
海老名 深須 伸一 (3)
金子 武男 (3)
松崎 明 (5)
高橋 晃 (5)
雨宮 光孝 (6)
海老名 長浦 文夫 (3)
小林 和彦 (4)
厚木県央 岡見 健 (2)
関原 敏文 (2)
豊 豊 (2)
松本 清則 (3)
春日 森 正章 (4)

第8グループ

- ◆米山功労者
相原 清
若森 康伸
二宮 文字 和男
成川 厚
石塚 誠
- ◆マルチプル
大磯 百瀬恵美子 (4)
平塚北 高橋 好文 (4)
林 啓之 (4)
根岸 君代 (5)
二宮 加藤 正人 (5)
平塚西 小泉 守 (2)
西村 泰一 (2)
大畑 直裕 (4)
吉川 寛巳 (5)
平塚南 馬場 昇 (5)
伊澤 正佑 (8)
平塚湘南 田中 敏恵 (2)
関口 直美 (2)
- ◆メジャードナー
平塚西 山田 雅孝 (26)
平塚湘南 古木 振一 (10)

第9グループ

- ◆米山功労者
小田原 清 元秀
櫻井 泰行
小西 正泰
室伏 学
湯河原 栗田 里香
小田原北 大野 英明
小田原城北 一寸木芳行
小田原中 安藤 謙
小笠原延郎
足柄 湯川 謙吾
笠間圭一郎
川本 浩之
- ◆マルチプル
小田原 秋葉 勝彦 (2)
高梨 吉則 (2)
木村 隆也 (3)
橋本 慎雄 (4)
石森 公夫 (4)
箱根 澤田 君雄 (6)
小田原北 前川 和彦 (2)
林 淳 (2)
柴崎 正三 (5)
瀬戸 北支 (7)
江成 健一 (9)
小田原城北 大川 久弥 (2)
本多 純二 (5)
守屋 善男 (5)
中村 維孝 (5)
鈴木 友徳 (7)
清 康夫 (8)
小田原中 讓原 彰 (3)
瀬戸 啓司 (4)
川田 隆志 (5)
小林 泉 (7)
- ◆メジャードナー
小田原北 中村 健作 (34)

R 財団寄付者一覧

(2019年7月1日～2020年6月30日)

アーチ・フランチ・ソサエティ

横須賀 小沢 一彦
相模原西 田島 敏久
田島富美子
平塚西 伊藤 延雄
かながわ湘南 伊藤 綾子

大口寄付

横須賀 小沢 一彦
横須賀 長尾 和典
ふじさわ湘南 田島 透
アーカス湘南 田代 晴香
茅ヶ崎 田中 賢三
相模原 杉岡 芳樹
平塚西 山田 雅孝

メジャーダー

鎌倉 服部 全弘 L 1
ふじさわ湘南 田島 透 L 2
かながわ湘南 原 千草 L 1
アーカス湘南 田代 晴香 L 1
茅ヶ崎湘南 松宮 剛 L 3
相模原南 栗林 一郎 L 1
津久井中央 佐藤祐一郎 L 1
大和田園 河西 正彦 L 1
秦野 竹内 万也 L 2
伊勢原 飯田 隆三 L 1
足柄 山地 裕昭 L 2

ボール・ハリス・ソサエティ

横須賀 小沢 一彦
鎌倉 久保田英男
菅原 光志
ふじさわ湘南 相澤 光春
田島 透
かながわ湘南 原 千草
柚木 裕子
茅ヶ崎 田中 賢三
茅ヶ崎湘南 脇 洋一郎
相模原 杉岡 芳樹
相模原西 田島富美子
田島 敏久
津久井中央 佐藤祐一郎
相模原柴胡 鹿島 敏裕
秦野 佐野 英之
竹内 万也
秦野中 小野良太郎
秦野名水 原 郁夫
平塚西 山田 雅孝
足柄 山地 裕昭

ベネファクター

鎌倉 小澤 貴幸
逗子 大野 宏一
葉山 鈴木誠二郎
藤沢東 吉田 新一
かながわ湘南 金井 玲子
アーカス湘南 田代 晴香
茅ヶ崎中央 當間 安弘
相模原 鈴木 正彦
相模原南 栗林 一郎
大谷 新一
杉崎 信一
相模原西 草薙 喜義
相模原ニューティ 山中 仁
相模原かめりあ 和光 早苗
厚木 滝澤 勇
厚木中 山口 昇
秦野 栗原 和子
伊勢原 東井 重和
秦野中 川口 洋
平塚西 伊藤 和彦
平塚湘南 吉田 薫
小田原 高梨 吉則
小田原北 前川 和彦
小田原中 瀬戸 啓司

ボールハリスフェロー

横須賀 小林 一博
小山 陽生
三堀 孝夫
曾我 宗光
鈴木 隆裕
鈴木 豊司
植田 威
渡邊 磨
山田 晴史

横須賀北 前川 永久
鎌倉 井上米輝子
向井 稔
大森 道明
横山 健雄
桐ヶ谷 覚
匂坂 祐二
鎌倉大船 小山 和秀
中村総一郎
田中 哲
鎌倉中央 森 靖雄
藤沢 児玉 貴之
吉野 貴美
磯田 賢吾
小澤 一成
塩坂源一郎
高木 透
芳川 恵子
阿部 貴之
井上 直紀
かみながわ湘南 知念 太士
茅ヶ崎 岩澤 淑江
北村 公子
杉本 剛昭
富田 桂司
石腰 亮
伊藤 正貴
鈴木 洋一
菊池 傑
須藤 伸
脇 卓光
吉田 大亮
茅ヶ崎中央 中川 信義
綾瀬春日 中村真一郎
鈴木 敦
相模原 守屋 又市
山本 忠典
相模原南 小方 貴實
鈴木 雅朗
相模原西 本間 健士
井口 一也
菅野 孝司
加藤 哲
松下 龍治
相模原グリーン 井上 誠士
河田 明成
齊藤紀美孝
関根 正司
高橋 幸一
津久井中央 原 正弘
相模原橋本 鎌田えり子
相模原かめりあ 森嶋 洋子
石村 哲也
大和 石井 規子
大和中 中村 友彦
厚木中 五十嵐直樹
海老名 松井 亮作
松本 哲也
永岡 史隆
井 寛明
守屋 孝則
山口 昌興
郭 根男
堂前 慶之
濱尾ゆかり
田中 徹
外谷 正人
関野 隆明
秦野中 福原美千加
伊勢原平成 長倉 博保
大磯 田中 敏治
相原 宗光
西村 泰一
堀 俊一
市川 聡
小西 正泰
清 元秀

小田原北 栗田 里香
小田原城北 一寸木芳行
小田原中 朝倉 朋子
神谷 操
一寸木正直
足柄 岩澤 郁雄
村上 仁

マルチプル・フェロー

横須賀 藤村 昌一 M 1
五十嵐俊男 M 1
加藤 元章 M 1
清水 格 M 1
八巻 敏博 M 1
福島 康人 M 2
澤田 菊江 M 2
田邊 一三 M 2
千葉 茂 M 3
石井 伸二 M 4
鈴木 正孝 M 2
秋本 清道 M 5
笠倉 正弘 M 7
桐ヶ谷主税 M 1
佐藤 明 M 3
河村 喜史 M 1
松坂 洋子 M 1
西 修一郎 M 2
大西 久子 M 2
柴田 光廣 M 3
奴田不二夫 M 5
佐藤美智子 M 7
山本 賢二 M 8
岡本 久 M 1
岡本 克己 M 2
桐田 吉彦 M 2
鈴木 安之 M 3
菊池 尚 M 3
村田 典昭 M 5
湊屋 孝之 M 5
矢部 房男 M 6
岡野 正道 M 2
原 和子 M 3
池田美恵子 M 3
坂田 洸 M 1
黒田 和哉 M 3
山田 嗣 M 4
山川ふみ子 M 4
今井 重信 M 5
木島 英夫 M 8
前地 厚洋 M 4
加藤 英夫 M 5
松長美美子 M 2
古谷富士雄 M 4
石田 能治 M 2
片岡 啓次 M 4
府中 洋 M 1
永松 秀行 M 1
山根 博正 M 2
青木小四郎 M 5
吉田 和人 M 1
金井 玲子 M 1
小尾優美子 M 1
原 千草 M 8
田代 晴香 M 8
吉田 幸一 M 1
大森久巳男 M 3
和田 幸男 M 4
成田 栄二 M 6
杉本 行廣 M 6
山口 利通 M 6
青木 誠 M 1
井上 稔 M 1
磯川 浩 M 3
平本 康雄 M 2
加藤 良男 M 3
栗原 茂明 M 3
渡井 克正 M 3
田中 伸宜 M 4
見上 周太 M 5
古郡 孔文 M 6
佐藤 涼栄 M 6
関川秀三郎 M 6
島田 裕巨 M 6
小島 一男 M 2

金指 一郎 M 3
山口真一郎 M 3
三堀 満 M 4
木村 康治 M 1
松岡 慶純 M 1
田中 重光 M 2
當間 安弘 M 2
三澤 護 M 3
小川 一雄 M 3
高橋 功 M 3
沼上 憲雄 M 4
長田 洋二 M 4
通所 好男 M 1
細谷 浩之 M 1
片岡 明 M 1
綱島 洋一 M 1
安藤 昌信 M 2
加藤 良隆 M 2
紀 孝 M 2
上條 隆司 M 3
相模原 鈴木 正彦 M 3
松岡 忠義 M 4
相模原橋本 萩原 義久 M 3
相模原南 中村 辰雄 M 2
桑田 俊夫 M 3
岸 勲 M 5
栗林 一郎 M 8
伊倉 正光 M 1
取住 悦子 M 1
中里 和男 M 1
老沼 秀夫 M 3
田所 毅 M 6
中原 貴志 M 1
土門 明哉 M 2
藤井 嘉子 M 2
佐藤 省三 M 3
関口 修 M 4
田島富美子 M 4
鈴木 豊 M 5
小林 恒男 M 8
坪井 廣行 M 3
佐藤 忠 M 4
相模原グリーン 村田 崇 M 2
大澤 重人 M 2
福山 茂 M 4
守屋 護 M 4
山本 正司 M 4
佐藤 眞一 M 5
小林信二郎 M 6
沼崎 善充 M 3
佐藤祐一郎 M 8
厚木 米山 尚登 M 5
壽永 純昭 M 6
大和 古川 毅 M 2
宮東 悠 M 8
座間 大矢 成行 M 1
高原 和享 M 4
伊藤 英夫 M 5
厚木中 建部 覚 M 3
渡邊 義治 M 3
出口 義勝 M 4
飯田 久夫 M 4
藤川 孝幸 M 5
大和田園 小林 貢 M 2
宇多 勇 M 2
金子 光雄 M 4
河西 正彦 M 8
海老名 小松 正道 M 1
大澤 操 M 1
雨宮 光孝 M 1
松崎 明 M 4
海老名樺 青木 浩一 M 1
小林 和彦 M 3
加藤 伸一 M 4
宮台 均 M 4
鈴木 勇 M 4
上野 秀子 M 4
飯島 博之 M 4
松本 豊 M 1
春日 清則 M 2
森 正章 M 3
石川 範義 M 4

秦野 杉本 榮次 M 3
石橋 道広 M 5
北村 久朗 M 6
内藤 優 M 6
澤 勇次 M 6
杉本 秀夫 M 6
須藤 宜弘 M 1
佐伯 崇興 M 4
松下 孝 M 7
奥津 清 M 3
小野良太郎 M 3
高橋 豊一 M 3
高橋 捷治 M 6
高橋 力 M 2
伊勢原中央 淵脇美代子 M 2
秦野名水 道治 M 2
西村 隆之 M 2
山本 裕宣 M 2
桐山 晃忠 M 3
伊勢原平成 宮本 佳昭 M 1
飯島 新治 M 2
足立 兵一 M 3
宮垣 正信 M 3
竹内 達夫 M 3
中村 眞英 M 4
平塚 升水 一義 M 2
杉山 昌行 M 2
常盤 卓嗣 M 2
鳥海 衡一 M 2
小泉 芳郎 M 3
升水 富次郎 M 4
成瀬 正夫 M 4
大磯 太田知加子 M 1
石山 智司 M 2
新宅 文雄 M 5
井上 浩吉 M 6
百瀬恵美子 M 7
櫻田 敬 M 5
熊久保時彦 M 1
佐藤 豊明 M 1
荒井 義光 M 2
吉川 寛己 M 3
平野 達雄 M 5
三富 正規 M 1
柳沢 隆 M 1
横山 邦夫 M 4
大田和俊彦 M 1
曾我 良成 M 1
木村 隆也 M 2
小沢 重彦 M 2
山室 秀之 M 2
神戸 和男 M 4
湯河原 石田 浩二 M 1
土屋 一弘 M 2
渡辺 久恭 M 2
平間 章弘 M 3
西山 敦 M 3
常盤 章夫 M 3
佐東 丈介 M 4
杉山 茂久 M 4
高知尾朝行 M 5
小田原北 江成 健一 M 4
柴崎 正三 M 4
榮崎 富治 M 5
小田原城北 阿久津 馨 M 1
櫻井 康二 M 1
須藤 公司 M 1
上田 博和 M 1
石崎 孝 M 4
中村 維孝 M 4
西 寛一 M 4
内山 修一 M 4
鈴木 友徳 M 5
小田原中 阿部 正弘 M 2
西山 文男 M 3
内田 治光 M 3
瀬戸 啓司 M 4
川田 隆志 M 5
足柄 関野五十二 M 1
井上 勝典 M 2

『新会員の皆さん、ようこそロータリークラブへ!!』

2020-21年度ガバナー 久保田英男

新会員の皆さん、ようこそロータリークラブへ!!

ロータリークラブは、様々な職業人が集い、地域や国際社会に奉仕し、青少年を育成し、平和な世界を構築することを目的としています。これから一緒に同じロータリアン同士目標達成に頑張りましょう!!

さてさて、色々入会にあたって今の様な説明をたくさん聞いてきたことと思います。自分も入会した時はそうでした。が、・・・正直チンプンカンプンで、まるで呪文の様な難解な用語を使う先輩の言葉も理解しないまま、週報のお手伝いをしたり、ニコニコのメッセージを読んだりしていました。「これが世界の平和に結びつくのだろうか」と疑問を持ちながら。

そんな時代を振り返り、新しいお仲間こんな情報をお贈りしたいと思います。

まず、毎月配布される「**ロータリーの友**」を是非端から端まで読んで下さい。日本のロータリークラブは勿論、国際ロータリーや世界ロータリークラブの情報を得ることが出来ます。最新の情報だけではなく、歴史や経緯なども分かり易く書かれていて、ロータリアンの投稿記事やインターアクト・ローターアクト、青少年交換学生の話もあり、タイムリーな情報が満載です。

そしてもう一つの情報源となるのが、「**My ROTARY**」と呼ばれる国際ロータリーのホームページです。ここには、様々な資料や情報があり、使い方になれるとまるで国際ロータリーの本部を訪問している感覚になります。逆に言うと、あまりの情報量の多さにもしかすると欲しい情報を探し出すのが難しいかもしれません。そこで新会員の皆さんにお勧めしたいのが、<https://www.rotary.org/ja> です。

まず、このページを色々見て下さい。会員以外に向けて発信する内容ではありますが、私たちロータリーが世界中で行っている活動がそこに紹介されています。ロータリーとはどんなことろか鮮明にみえることでしょう。「ローカルの考え、グローバルに行動する」「世界を変える行動人」それは、すなわち『あなた』のことです。

皆さんは、ロータリーへ入会し新しいステージに立ちました。でもまだそこに立っただけ。その前にある扉を開いてみて下さい。そこには「**ロータリーの友**」「**My ROTARY**」にある新しい世界が広がっています。そして、更はその向こうにある扉を開けて、次の時代と一緒に作りましょう。

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かわしま やまと
川島 大和
①相模原橋本
②2018. 10. 11
③飲食店
④江成藤吉郎



うらかみ ひろお
浦上 裕生
①相模原橋本
②2018. 11. 21
③小売業
④塚原 祐太、
秋本 博寿



かたくら りょうすけ
片倉 亮介
①相模原橋本
②2018. 12. 06
③弁護士
④秋本 博寿、
関根雅吾郎



ふくはら のぶあき
福原 信明
①相模原橋本
②2019. 01. 10
③建設
④沼尾 一喜



いしづか ひろゆき
石塚 広幸
①相模原橋本
②2019. 06. 09
③金融
④原 幹朗



あきもと じん
秋本 仁
①相模原橋本
②2019. 06. 20
③スポーツ事務
④江成藤吉郎



こいけ しろう
小池 史朗
①相模原橋本
②2019. 06. 20
③税理士
④江成藤吉郎



さと りんたろう
里 倫太郎
①相模原橋本
②2019. 06. 20
③保険
④原 幹朗



とみおか やすみつ
富岡 康充
①相模原橋本
②2019. 06. 20
③知財 コンサルティング
④原 幹朗

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



あだち なみ
足立 奈美
①相模原橋本
②2019. 08. 01
③飲食
④原 幹朗



みうら しげお
三浦 茂雄
①相模原橋本
②2019. 08. 01
③自転車販売
④江成藤吉郎



むらの たけし
村野 健
①相模原橋本
②2019. 08. 01
③ねじ類販売
④内田 鉄雄、
原 幹朗



しみず こうじ
清水 功次
①相模原橋本
②2020. 02. 06
③理容師
④江成藤吉郎



よしおか たかみ
吉岡 貴美
①相模原橋本
②2020. 02. 20
③保険
④里 倫太郎



ふるはし こうじゅん
古橋 功順
①相模原橋本
②2020. 02. 27
③寺 住職
④原 幹朗



まつした りえ
松下 理絵
①相模原橋本
②2020. 03. 31
③飲食店
④関根雅吾郎、
原 幹朗



しかた ひろゆき
四方 浩之
①厚木中
②2020. 06. 03
③保険業
④小島 正伸



かどい かつあき
門井 勝昭
①鎌倉
②2020. 06. 09
③食肉製造
④宮本 英光



さいつ たかひろ
財津 高広
①厚木
②2020. 06. 16
③総合建設業
④山口 巖雄



たけうち たかひろ
竹内 貴浩
①厚木
②2020. 06. 16
③証券業
④高橋 宏



なんば ゆうぞう
難波 有三
①厚木
②2020. 06. 16
③幼稚園
④前田 賢一



おがわ ひろひさ
小川 博久
①逗子
②2020. 06. 18
③家具販売
④大野 宏一、
横山 健



かわかみ あつし
川上 敦
①逗子
②2020. 06. 18
③金融サービス
④大野 宏一、
横山 健



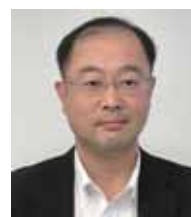
まつもと しょうへい
松本 将平
①逗子
②2020. 06. 18
③行政書士
④大野 宏一、
横山 健



はやし しほ
林志保
①本厚木
②2020. 06. 18
③弁護士
④金澤 平、
佐野 良人



あきやま ひろあき
秋山 博昭
①相模原西
②2020. 06. 24
③電気工事業
④管野 孝司



oiwada ひろし
大和田 博司
①鎌倉大船
②2020. 07. 01
③保険/生命保険
④石井昭二郎



しむら たく
志村 拓
①平塚
②2020. 07. 02
③電気通信業
④升水 一義



いわさわ よしゆき
岩沢 修之
①綾瀬
②2020. 07. 07
③食品製造
④松原 政次

訃報 ご冥福をお祈り致します



青野 豊 (箱根)

2020年8月2日逝去 (享年72歳)

2013年9月5日 入会

マルチプルフェロー/米山功労者

第2780地区 2020年6月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数										
			6月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減		
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	
1	横須賀	1	112	12	118	13	9	1	15	2	-6	-1	
	横須賀北	2	22	4	24	5	4	1	6	2	-2	-1	
	三浦	2	28	1	26	1	7	0	5	0	2	0	
	横須賀西	2	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
	横須賀南西	5	14	0	14	0	1	0	1	0	0	0	
	計		190	17	196	19	21	2	27	4	-6	-2	
2	鎌倉	4	81	13	85	13	4	0	8	0	-4	0	
	逗子	3	49	4	45	3	8	1	4	0	4	1	
	鎌倉大船	3	14	0	15	0	2	0	3	0	-1	0	
	葉山	1	24	3	26	3	1	0	3	0	-2	0	
	鎌倉中央	0	20	4	19	4	1	0	0	0	1	0	
	計		188	24	190	23	16	1	18	0	-2	1	
3	藤沢	2	43	12	43	11	7	2	7	1	0	1	
	藤沢西	1	20	1	19	1	2	0	1	0	1	0	
	藤沢北	2	8	2	15	3	1	0	8	1	-7	-1	
	藤沢東	5	31	7	39	7	0	0	8	0	-8	0	
	藤沢北西	1	13	1	15	1	1	0	3	0	-2	0	
	藤沢南	4	38	7	38	7	1	1	1	1	0	0	
	ふじさわ湘南	4	34	1	36	3	1	0	3	2	-2	-2	
	かながわ湘南	3	25	14	26	15	0	0	1	1	-1	-1	
	アークス湘南	3	4	2	7	4	0	0	3	2	-3	-2	
計		216	47	238	52	13	3	35	8	-22	-5		
4	茅ヶ崎	3	41	5	44	6	1	0	4	1	-3	-1	
	寒川	5	30	1	31	1	1	0	3	0	-2	0	
	綾瀬	4	33	0	36	0	1	0	4	0	-3	0	
	茅ヶ崎湘南	2	45	1	52	2	2	0	9	1	-7	-1	
	茅ヶ崎中央	3	48	3	50	2	2	1	4	0	-2	1	
	綾瀬春日	3	22	0	23	0	0	0	1	0	-1	0	
	計		219	10	236	11	7	1	25	2	-18	-1	
5	相模原	4	69	5	68	4	7	1	6	0	1	1	
	津久井	3	0(注2)	0	9	2	0	0	9	2	-9	-2	
	相模原南	3	51	7	51	6	9	1	9	0	0	1	
	相模原中	4	29	3	37	3	0	0	8	0	-8	0	
	相模原西	4	51	6	55	7	1	0	5	1	-4	-1	
	相模原東	2	19	2	21	2	1	0	3	0	-2	0	
	相模原グリーン	3	54	5	53	5	4	0	3	0	1	0	
	相模原大野	0	0(注1)	0	14	2	0	0	14	2	-14	-2	
	津久井中央	3	19	4	16	2	3	2	0	0	3	2	
	相模原柴胡	3	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0	
	相模原橋本	2	57	8	52	4	8	4	3	0	5	4	
	相模原ニューシティ	1	41	5	39	5	4	0	2	0	2	0	
	相模原かめりあ	2	27	27	28	28	2	2	3	3	-1	-1	
計		444	75	470	73	39	10	65	8	-26	2		
6	厚木	4	42	2	40	0	7	2	5	0	2	2	
	大和	5	34	5	31	3	5	2	2	0	3	2	
	座間	4	26	1	16	1	12	0	2	0	10	0	
	大和中	2	27	1	32	1	2	0	7	0	-5	0	
	厚木中	3	24	0	25	1	3	0	4	1	-1	-1	
	大和田園	3	31	2	30	2	1	0	0	0	1	0	
	海老名	3	48	5	52	5	1	0	5	0	-4	0	
	海老名樺	4	36	5	38	7	1	0	3	2	-2	-2	
	厚木県央	4	38	4	42	5	0	0	4	1	-4	-1	
	本厚木	1	38	4	38	3	2	1	2	0	0	1	
	計		344	29	344	28	34	5	34	4	0	1	
	7	秦野	4	49	6	47	6	4	0	2	0	2	0
		伊勢原	4	53	5	58	5	2	0	7	0	-5	0
秦野中		2	38	1	40	1	0	0	2	0	-2	0	
伊勢原中央		3	12	0	13	1	1	0	2	1	-1	-1	
秦野名水		1	16	7	25	9	5	1	14	3	-9	-2	
伊勢原平成		4	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0	
計		187	19	202	22	12	1	27	4	-15	-3		
8	平塚	2	62	4	61	4	5	0	4	0	1	0	
	大磯	1	16	3	15	2	1	1	0	0	1	1	
	平塚北	2	35	5	39	5	1	0	5	0	-4	0	
	二宮	1	9	2	9	2	0	0	0	0	0	0	
	平塚西	3	30	1	28	0	3	1	1	0	2	1	
	平塚南	3	19	3	19	2	3	1	3	0	0	1	
平塚湘南	0	42	6	45	7	0	0	3	1	-3	-1		
計		213	24	216	22	13	3	16	1	-3	2		
9	小田原	4	66	2	69	1	3	1	6	0	-3	1	
	湯河原	4	24	1	23	2	2	0	1	1	1	-1	
	箱根	1	39	2	38	2	2	0	1	0	1	0	
	小田原北	3	36	5	36	5	3	0	3	0	0	0	
	小田原城北	3	39	2	38	2	4	0	3	0	1	0	
	小田原中	4	50	6	49	7	2	0	1	1	1	-1	
	足柄	2	18	1	27	2	1	0	10	1	-9	-1	
計		272	19	280	21	17	1	25	3	-8	-2		
総計		2,273	264	2,372	271	172	27	272	34	-100	-7		

(注1) 相模原大野RC 3月末RI脱会
(注2) 津久井RC 5月29日付津久井中央RCと合併

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
66	2,273(264)

()内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)
172(27)	272(34)	-100(-7)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2020~2021 Governor
Hideo Kubota

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度ガバナー
久保田 英男

■事務所/〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp